

予算 平成21年度

一般会計 229億5,000万円
 特別会計 130億1,902万円
 事業会計 61億1,599万円
 予算総額 420億8,501万円

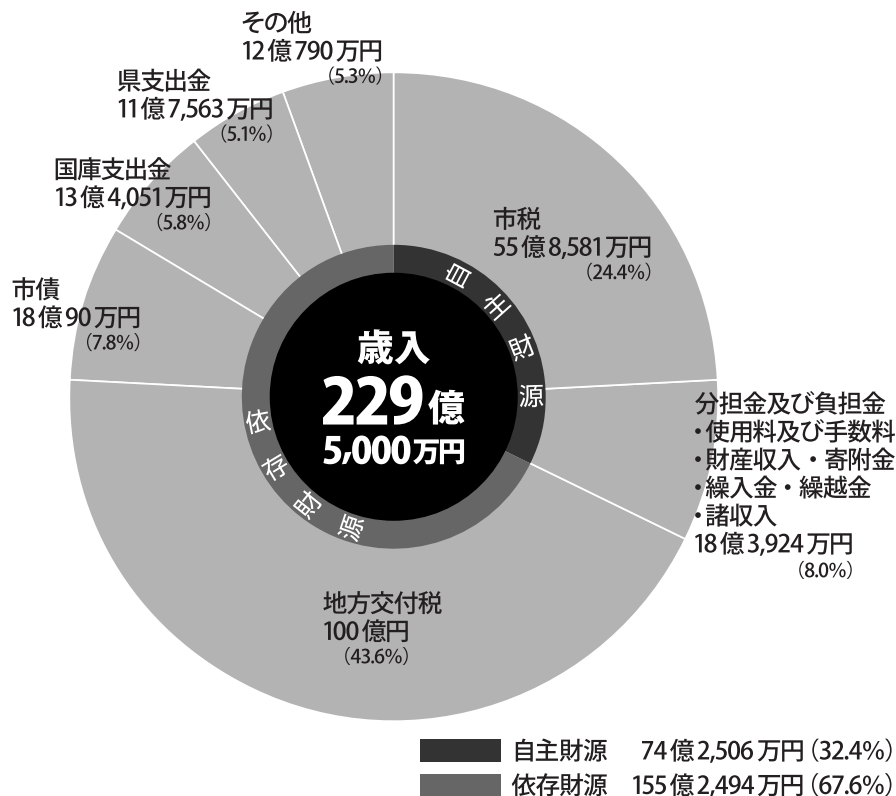
市民の皆さんの
 目線に立って
 地域の特色を生かす
 心のこもった
 まちづくりを進めます

一般会計歳入

市の歳入は大きく分けて自主財源と依存財源に分かれます。歳入では、自主財源が市税および繰入金の減により前年度と比べ10・5%減の74億2,506万円、依存財源が1・9%減の155億2,494万円と

なっています。

自主財源で大きな割合を占める市税は、景気の悪化による法人市民税および個人市民税の減や、3年に一度の評価替による固定資産税の減などにより、前年度と比べ2億8,436万円(4・8%)減の55億8,581万円を見込んでいます。分担金及び負担金は、農業関係事



【市の歳入】

平成21年度の市の歳入は、229億5千万円で、その内訳はグラフのとおりです。市の歳入にはいろいろなものがありますが、中でも市税は55億8,581万円と、歳入全体の約4分の1を占めています。

歳入を見るときポイント

市の歳入は大きく分けて「自主財源」と「依存財源」に分かれます。歳入の状況を見るポイントの一つとして、歳入全体の中で自主財源の比率があげられます。

- 自主財源とは・・・市が自主的に収入することができるお金のことを言います。
- 依存財源とは・・・国や県からの補助金など、市が自主的に収入することができないお金のことを指します。

自主財源が多いと市の自由度が高まり、逆に自主財源が少なく依存財源が多いと国や県に頼る部分が多いということなので、市の自由度が低くなります。

業分担金や給食負担金の減、また、使用料及び手数料は、教育施設等の市民無料化に伴う減などにより、合わせて約2,800万円減の8億3,348万円を見込んでいます。財産収入は、市有財産の貸付や普通財産の売却により引き続き財源確保に努め、繰入金は地域活性化基金をバス運行費および地域振興費に、

教育振興基金を今年度完成をめざす朽木村史の編さんにそれぞれ充てるため取り崩します。一方、予算全体の3分の2を占める依存財源は、地方交付税で地方の雇用を促すため地域雇用創出推進費が創設される一方で、算入される公債償還額が減額となることから、前年同額の100億円を見込んでいます。

国庫支出金、県支出金は補助対象となる各種事業、負担金を精査した上で25億1,614万円となり、市債は18億90万円を見込んでいます。その他には、地方譲与税が2億9,550万円で、道路特定財源の一般財源化に伴い使途制限が廃止され、地方道路譲与税の名称が地方揮発油譲与税に改められています。また、自動車取得税交付金も譲与税と同様に改正されています。自衛隊演習場の資産価格により交付される国有提供施設等所在市町村助成交付金は2億1,940万円、地方特例交付金では、児童手当制度の拡充に伴い措置される児童手当特例交付金、住宅借入金等特別税額控除による個人住民税の減収、自動車取得税交付金の減収を補てんする減収補てん特例交付金、減税補てん特例交付金の廃止に伴う経過措置として交付される特別交付金を合わせて9,070万円などとなっています。

平成21年度当初予算(骨格予算)の概要

平成21年度の予算が3月議会で議決を経て決定しました。平成21年度の一般会計予算は229億5千万円で、前年度の当初予算と比べて4・9%、金額にして11億8千万円の減となっています。今年度当初予算は、2月13日の新市長就任後、新年度予算編成に向けての政策協議に十分な期間を確保することが困難な状況であったため、政策的経費の計上を見送り、当面必要となる義務的経費、維持管理経費および継続事業について計上した骨格予算となっています。

平成21年度会計別予算額

会計区分	予算額
一般会計	229億5,000万円
特別会計	130億1,902万円
事業会計	61億1,599万円
合計	420億8,501万円

おこわり金額は、1万円未満を切り捨てしているため、合計が一致しない場合があります。 図財政課 ☎(25)8111